

### 3 主な作品

#### (1) 寄附金による購入作品

さいじょう あかね  
西條 茜 《甘い共鳴》 (別紙1③)

2021年 陶 90.0×110.0×140.0 cm



Photo Masahito Yamamoto

さいじょうあかね  
西條 茜は1989年兵庫県生まれ、京都市立芸術大学大学院出身の作家です。陶による造形において、表面は多彩な技法を駆使して作られるのに対して、内側は焼き窯での爆発を避けるためにただ空洞にするという構造関係に関心を寄せ、制作の出発点としています。そうした関心の中で、装身具や医療器具、あるいは体内の器官や臓器を形として参照し、自らを含む身体をその表現のテーマにしています。

## (2) 寄贈作品

しおた ちはる  
塩田 千春 《Endless Line》 (別紙2①)

2017年 糸、画布 200.0×420.0 cm (3点組、各 200.0×140.0 cm)

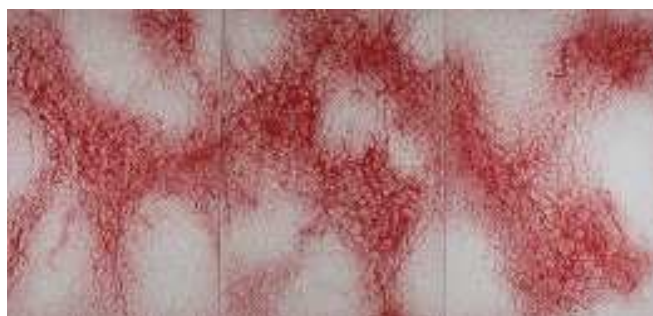


Photo Sunhi Mang

しおたちはる  
塩田千春は1972年大阪府生まれ、京都精華大学出身の作家です。パフォーマンスや写真、インスタレーション(※)など複数のメディアを用いて、世界の現代美術シーンの第一線で活躍しています。「あいちトリエンナーレ2010」、「国際芸術祭『あいち2022』」に参加するなど、愛知県との縁も深い作家です。寄贈作品は赤い糸がキャンバスに縦横無尽に張り巡らされています。赤い糸は身体の各所を繋ぐ血管や、あるいは血族というような目には見えない繋がりを連想させます。

※ インスタレーション：展示空間を含めて作品とみなす手法のこと。